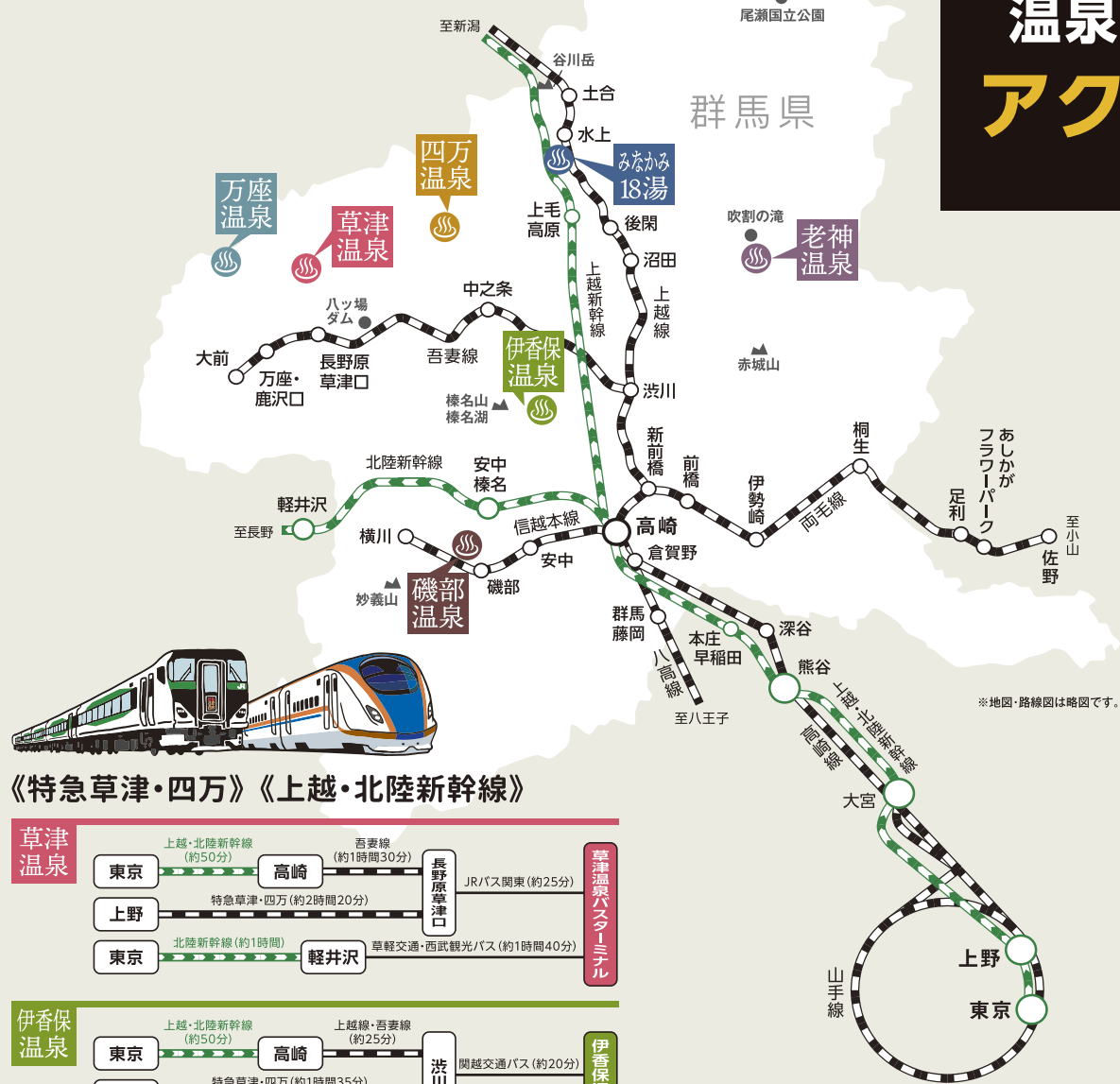
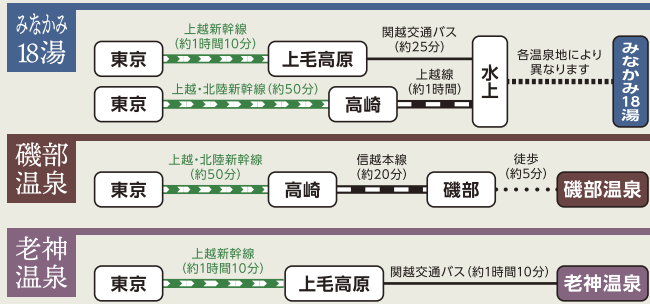
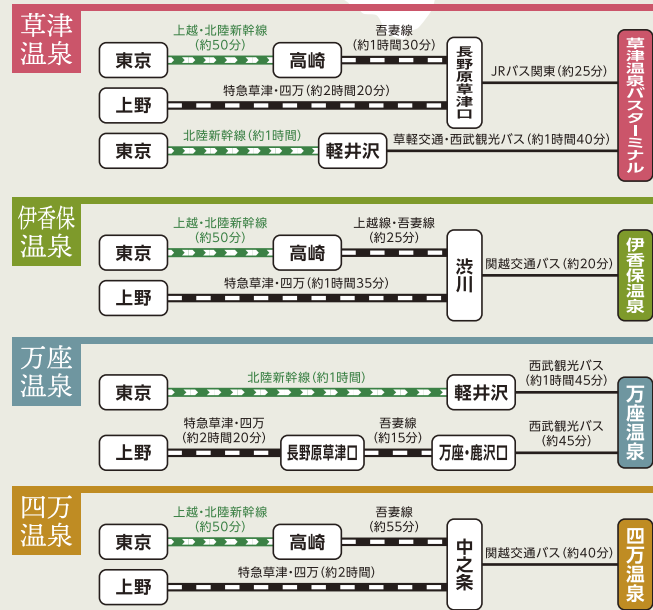


東京から群馬の 温泉地への アクセス



《特急草津・四万》《上越・北陸新幹線》



きつぷを自宅や出発で簡単予約！

えきねっと

特急草津・四万

在来線 特急券 **チケットレス トク割**

在来線チケットレス特急券(トク割)なら 特急料金が **35% 割引**に！
チケットレスだから、スマホだけで気軽にすぐに温泉へ！
詳しくは [えきねっと](https://www.eki-net.com) | <https://www.eki-net.com>

在来線 チケットレス特急券 JRE POINT 特典
JRE POINTをおトクに特急券に交換できます！

例えば 上野 ~ 長野原草津口 164.5キロ
特急料金 2,290円 ▶ 1,280ポイントで交換!!
あらかじめJRE POINT WEBサイトへの会員登録、および「えきねっと」サイト内でのJRE POINT会員番号の連携手続きが必要となります。
※交換に必要なポイント数はおとな、子どもとも同ポイント数です。

えきねっとチケットレスアプリ

「新幹線eチケットサービス」「在来線チケットレス特急券サービス」の予約・決済ができる！「上越・北陸新幹線」や特急草津・四万も申込み可能！

列車も宿も、自由に選ぶ
JR東日本びゅう **ダイナミックレールパック**
えきねっとサイト内の「JRツアー」からお申込み！自分だけのオリジナルな旅を！

※掲載している交通手段・時間はおおよその目安です。余裕を持ってお出かけください。※掲載している写真・地図・イラストは全てイメージです。実際とは異なる場合がございます。予めご了承ください。※掲載内容は2025年8月の情報です。

群馬 LOVE ONSEN

ONSENの魅力、再発見！

「温泉王国ぐんま」で見つめ直す、日本の「温泉文化」。

日本が世界に誇る「温泉文化」を
ユネスコ無形文化遺産へ！

詳しくは [ぐんま湯けむり満喫プロジェクト](#) | [Q](#)



日本が世界に誇る「温泉文化」を ユネスコ無形文化遺産へ！

日本人は、温泉を訪れて入浴することを通じ、四季を感じ、自然と交わり、神を感じることで、“心の癒やし”を得てきました。

そして、温泉の効能により“体の癒やし”を得てきました。

「温泉文化」は、「自然の恵みである温泉に浸かり、心と体を癒やす」という、日本人に根付いている社会的慣習です。

日常から離れ、温泉に **「浸」** かり、 **「想」** いを辿り、 **「楽」** しむ・・・

人々に親しまれている「温泉文化」をユネスコ無形文化遺産へ！



温泉王国ぐんまで 温泉文化を堪能する

群馬県の温泉地数は約100か所(環境省 令和5年度温泉利用状況より)。山岳・高原・渓谷など変化に富む自然の中で湧き出し、その地域で育まれてきた温泉はひとつひとつ個性的です。豊富な湯量、多彩な泉質。群馬県は日本有数の「温泉王国」。代表的な7つの温泉地から、「浸かる」「想う」「楽しむ」、3つの切り口でそれぞれの「温泉文化」を紹介します。温泉文化を知ること、温泉の魅力を再発見しませんか。

7つの温泉地のその他の温泉文化は
コチラから

ぐんま湯けむり満喫プロジェクト | Q



温泉に浸かることで、心と体をあたため
癒やしてきた歴史を
体感する



温泉の歴史や伝承にふれ、
温泉に対する人びとの
想いを辿る



湯治・保養・観光などから生まれ、
形成されてきた文化を
堪能する

ユネスコ無形文化遺産とは？

ユネスコ無形文化遺産は、国際条約に基づいて文化遺産を守る枠組みのひとつです。「世界遺産」が建築物など「有形」の文化財を対象とするのに対して、「無形文化遺産」は「無形」の文化財、たとえば伝承・芸能・社会的慣習・儀式・祭礼・伝統工芸技術、そして自然及び万物に関する知識及び慣習などを対象とします。日本ではこれまで「能楽」「歌舞伎」「人形浄瑠璃文楽」「雅楽」「和食」「和紙」「伝統的酒造り」などが無形文化遺産に登録されています。



草津温泉



湯畑を中心に形成された温泉街の歴史を楽しむ。

温泉街の中心に広がる「湯畑」は草津温泉のシンボル。中核的な源泉として毎分約4,000Lの温泉を湧出しています。湯畑の中の「湯樋」は、高温の源泉を冷まして湯宿などに送るため、また「湯の花」を採取するため。湯の花の採取は江戸時代から続く風習です。ロータリー状に整備されたひょうたん型のデザイン監修は芸術家・岡本太郎によるもの。湯畑を囲む遊歩道には「足湯」や「手洗乃湯」などの施設。夜間のライトアップも幻想的です。



伊香保温泉



伊香保の歴史とともに歩みつづけてきた石段街。

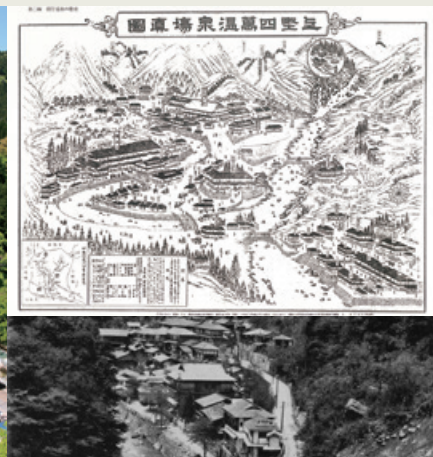
伊香保温泉の石段街は戦国時代に形成された日本初の計画的な温泉都市の名残。「長篠の戦い」で敗れた武田勝頼が傷兵の療養所とするため、傾斜地を利用して源泉から効率よく温泉を分配するためにつくられたのが始まりです。温泉所有者の「大屋」へ石段の途中から引湯していた「小間口」は今も現役。江戸時代半ばに「大屋12軒」が十二支の順で名主を務める制度へ。石段に「大屋12軒」を示す十二支のレリーフが埋め込まれています。

四万温泉



上毛かるた「世のちり洗う四万温泉」。

四万温泉の名前は、「四万の病を治す霊泉を授ける」との神託に由来すると言われています。
また、上毛かるたのフレーズは、江戸時代の群馬初の総合地理書「上野国志」の「四万温泉記」に「世俗のちりに汚れた心を洗い清めて癒すことができる」との記述が元となっていると言われ、四万の清流をはじめとした自然と温泉とで古くから長く湯治場として親しまれた歴史があります。



みなかみ18湯



町村合併で生まれた「18湯」。贅沢な湯めぐり。

利根川源流に位置するみなかみ町の豊かで貴重な自然と温泉地は、古くから登山やスキーを楽しむ人々に、現在はウォーターアクティビティを楽しむ人々も加わり、共に愛されてきました。「みなかみ町」の町名は若山牧水が記した「みなかみ紀行」に由来しています。利根川の源流「河の水上」に愛着を感じ、この地を訪れた牧水と同じように、みなかみ18湯は多種多様な泉質を育む大自然に誇りを持ち、そして守り続けています。



万座温泉



神話に抱かれる天空の温泉郷。

草津白根山の山頂近く、標高約1,800mの高地にあり、主な泉質「酸性硫黄泉」の硫黄成分は日本一といわれる含有量。白濁(黄濁)した湯で強い殺菌力が期待でき、古くから万病に効くと言われてきました。熊四郎岩窟(くましろうがんくつ)の出土品から5,000年以上前の先史時代から温泉の利用があったとも言われています。



磯部温泉



「温泉マーク」の発祥地。

磯部温泉は温泉マークの発祥地。地元の土地争いを巡る万治4年(1661)の評決文の絵図に、湯気の出ている記号(温泉マーク)があるのを1981年研究者が発見。専門家の鑑定によって、史料に残る日本最初の温泉マークとして認定。世界に発信されている日本の温泉マークは江戸時代前期に生まれていたことが明らかになったのです。



老神温泉



神々の争い。想いを捧げる大蛇まつり。

老神温泉の開湯伝説は赤城山の神(大蛇)と二荒山(日光男体山)の神(大ムカデ)との争い。二荒山の神によって矢を射られた赤城山の神がこの地まで後退し、矢を引き抜いて地面に立てた場所から湯が湧き、傷を癒やして逆襲したというお話。5月上旬、開湯伝説にちなみ、赤城山の神に感謝を捧げる「大蛇まつり」が開催されます。